

文化遺産 国際協力の今

第18回

文化遺産国際協力
コンソーシアム研究会

文化遺産保護の国際動向

文化庁 長官

青柳 正規
AOYAGI MASANORI

文化遺産国際協力コンソーシアム 副会長
国立民族学博物館民族社会研究部 教授

関 雄二
SEKI YUJI

日本イコモス国内委員会 副委員長

苅谷 勇雅
KARIYA YUGA

日本西アジア考古学会 会長
奈良県立橿原考古学研究所 技術アドバイザー

西藤 清秀
SAITO KIYOHIDE

会場：東京文化財研究所 セミナー室

2016.3.3【木】13:40-17:00 (開場13:30)

(13:30開場、13:00~13:30は同会場にて総会開催を予定)

入場無料 【申し込み制】定員110名

参加ご希望の方は以下のコンソーシアムウェブサイト
申し込みフォームからお申し込み下さい。

<http://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>



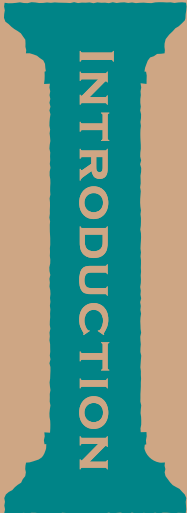
JCIC-Heritage

文化遺産 保護の 国際動向

文化遺産国際協力コンソーシアムでは、年に1回「文化遺産保護の国際動向」と題し、文化遺産保護に関わる最新情報を共有する研究会を開催しています。

第1部では、基調講演に文化庁の青柳正規長官をお迎えし、2016年6月にコンソーシアム設立10周年を迎えるにあたり、我が国の文化遺産保護の国際貢献について一度考える機会としたいと思います。

第2部では日本による国際貢献の最近の事例として、2015年10月に福岡で開催された国際イコモス年次総会と、2015年12月にレバノンのベイルートで開催されたシリア考古学会議についてご報告いただきます。



プログラム

13:40-13:45 **開会挨拶**

第1部:文化遺産国際協力の展望 —コンソーシアム設立10周年にむけて—

13:45-14:45

基調講演

文化遺産保護を通しての我が国の国際貢献
青柳 正規 (文化庁 長官)

14:45-15:35

講演1

コンソーシアムの意義と協力活動の課題

関 雄二 (文化遺産国際協力コンソーシアム 副会長/国立民族学博物館民族社会研究部 教授)

休憩15分

第2部:日本による国際貢献の最前線

15:50-16:20

講演2

日本イコモス国内委員会の最近の活動と
国際イコモス年次総会(福岡)の報告

荻谷 勇雅 (日本イコモス国内委員会 副委員長)

16:20-16:50

講演3

シリア考古学会議の報告

西藤 清秀 (日本西アジア考古学会 会長/奈良県立橿原考古学研究所 技術アドバイザー)

16:50-17:00

総合質疑応答・閉会挨拶

17:00-

懇談会

(事前にお申し込み下さい。定員のためお断りする場合がございます。)

申し込み概要

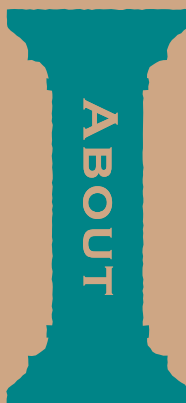
入場無料【申し込み制】

定員110名

研究会への参加をご希望の方は
以下のコンソーシアムウェブサイト
申し込みフォームからお申し込み下さい。

<http://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>

※電話でのお申し込みも右記電話番号より受け付けております。



アクセス

会場 東京文化財研究所 地階セミナー室
東京都台東区上野公園13-43

最寄り駅 JR鶯谷駅南口より徒歩8分
JR上野駅公園口より徒歩15分

お問い合わせ

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局

〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43

東京文化財研究所内

Email consortium@tobunken.go.jp

URL <http://www.jcic-heritage.jp/>

Tel 03-3823-4841 Fax 03-3823-4027



JCIC-Heritage